

木村正明

みなさんと一緒にこんな千代田区に

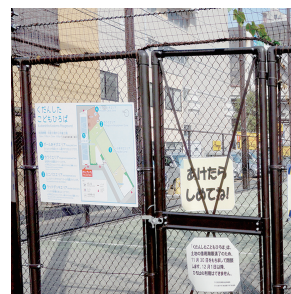
① 気候危機対策～脱炭素の先進都市に

千代田区の平均気温は 100 年前より 2.5℃ も上昇しました。CO2 の排出量の 8 割近くは業務ビルからのものです。断熱助成の拡充など省エネと区有施設での再エネ利用の促進など再エネの抜本的強化で、千代田区を脱炭素の先進都市に。

- CO2 の排出量を増やす大型開発から、身の丈に合ったまちづくりへの転換をはかります。
- 街路樹を生かしたまちづくりをすすめます。

② 教育と子育てに思い切った予算を～子どもたちに「最善の利益」を

- 学校給食を無償化します。
- 子どもの自由な空間を確保します。
- 通学の安全総点検を行います。



2022 年 11 月末で閉鎖の 掲示がある「くだんしたこどもひろば」

③ 住まいは人権～誰にも安定した住まいを

- 家賃補助を思い切って拡充します。
- 快適・長持ちマンションへ全力で支援します。

④ 尊厳ある安心の老後を～ケアに手厚いきめ細かな施策を

- 介護保険料・利用料の負担を軽減します。
- ケア労働に携わる職員を十分に確保し、処遇を改善します。

今期 (2019 年 4 月以降) はこのようなことにもとりくみました

- コロナ感染対策として、介護施設での定期的な PCR 検査、医療機関への財政支援、保健所体制の強化などを提案し、実現しました。
- 区立学校のトイレ個室に生理用品を設置するよう求め、実現しました。
- 公有地などを活用し子どもの遊び場を増やすよう繰り返し質問。遊び場条例改正案も 2 回提案しました。
- 子育て世帯の負担を軽減するため、国民健康保険の子どもの均等割を廃止する国保条例の一部改正を提案しました。
- 区がマンション開発業者に対し、教育・保育インフラの整備状況に配慮を要請できるよう、住宅基本条例の改正案を提案しました。

「区民の顔が思い浮かぶ質問」を心がけ 初当選以来、毎回の議会で区民のみなさんの声を代弁

区民の顔が思い浮かぶ質問を。初質問の際、尊敬する女性議員からいただいたアドバイスです。それからもうすぐ

日本共産党 木村正明



物価高騰と住まいの対策を区長に迫る(2022年9月)

少年時代は野球に熱中

プロ野球選手が夢だった少年時代。学校から帰宅後、家の裏の田んぼで異年齢の友人たちとよくキャッチボールをしたものです。時には近所のおじさんたちが交代でノックをしてくれました。私を育ててくれた自由な空間と地域のコミュニティに感謝しています。

私の夢は、私以上に野球の好きな孫に託しました。

ひき続き 3 人の区議団を

困ったことがあったら、ご相談ください
一緒に解決しましょう

TEL 090-7206-0505

メール m.kimura24@hb.tp1.jp

twitter @kimuramasaaki0

HP <https://www.kimura-masaaki.com/>



2022 年 秋・冬号外
発行 千代田区民新聞社千代田区神田須田町 1-30-1-101
日本共産党・木村正明区議の活動を紹介しします

プロフィール

1955 年 宇都宮市生まれ。中央大学で学ぶ ● 1989 年 千代田区議会議員補欠選挙で当選。以来 9 期連続当選 ● 現在 議会運営委員会副委員長、企画総務委員会委員、環境・まちづくり特別委員会委員、議会のあり方調査検討特別委員会委員。社会保険労務士、マンション管理士 ● 趣味はジョギング、太極拳、孫の野球観戦 ● 二番町在住

しっかりと発言
なんども提案
きちんとして報告

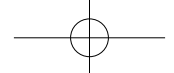
木村正明

きむらまさあき

千代田区議会議員 (9 期)

日本共産党

↑ 33 年間発行し続けてきた区議会報告ニュース 「こんにちは木村正明です」 など



区議9期33年
いつもみなさんとともに

3つのモットーで歩んでいます

日本共産党

木村正明

①住民こそまちづくりの主人公



「住」という字は「人」は「主」と書きます。住民がまちづくりの主人公になってこそ、住みつけられるまちになる。これが私の信条です。

バブル時、地価高騰で多くの区民が泣く泣く離れていきました。「住みつけられる千代田区を」。そんな願いを込めて区民が作り上げたのが住宅基本条例（1991年制定）です。この条例は「すべての区民が人間として尊重され、ともに暮らし、ともに生活できる、人間性豊かな地域社会」を気付き上げていくと宣言しました。いまこそ、この理念を発揮すべきときです。



住宅基本計画を手に

②しっかり発言 なんども提案 きちんと報告

日本共産党区議団は、毎年実施している「区政アンケート」や、生活相談を通じて寄せられた声を議会質問や条例提案、予算要望、申し入れなどに生かしています。区民のみなさんの声を区政にしっかり届け、その結果をきちんと報告することは、私の議会活動の原点です。

私はこの33年間、すべての定例区議会で本会議質問にたち、その結果を「区政報告会」や区議会報告ニュース「こんにちは木村正明です」（ホームページからご覧になれます）で報告してきました。発行回数は780号を超えました（2022年10月時点）。

また、区政報告会にご参加頂いた方からは「なんでも率直に話せるので驚きました」との感想も頂いています。



区政報告会では、「どんな事でも話せる、聞ける」ことをだいたいしています

③平和と民主の歴史受け継ぎ

かつて近衛師団や参謀本部がおかれ、軍都だった千代田。同時に、平和と民主のもう一つの流れがありました。自由民権活動家の拠点となった松本亭（神田錦町）、日露戦争に反対の論陣をはった「平民新聞」（有楽町）、関東大震災時に「生活・営業・労働の機会を」と「人間復興」を唱えた経済学者、福田徳三氏の生誕地（神田須田町）等々。

いま、自民党政治はロシアによるウクライナ侵略を契機に軍事力を一気に強化しようとしています。いまこそ千代田の平和と民主の歴史を受けつぎ、憲法を指針に平和の共同をひろげます。

千代田区には平和と民主の足跡が少なくありません。そこを探して歩きまわるのが大好きです。GHQ草案にも影響を与えた憲法草案要綱をつくった憲法研究会。その場所や、足尾鉍毒事件の田中正造が天皇に直訴した場所などは感慨深いものでした。



治安維持法に反対し1929年に暗殺された代議士、山本宣治終焉の地のプレート（神田神保町）の前で

みなさんと一緒にねばり強く区政を動かしてきました

最初は3歳までだった—子どもの医療費の無料化

共産党区議団が初めてとりあげたのは1992年です。翌年に3歳までの医療が無料になりました。

2001年に小6までの無料化を提案すると区長は「検討する予定はない」と冷たい答弁。子育て世代の署名運動と結んでねばり強く条例提案と質問を繰り返し、高校3年生まで一步一步広げてきました（表を参照）。さらに入院給食費への助成を復活させるため、全力をあげます。

子ども医療費無料化の前進

1992	共産党区議団が区議会で質問
1993	3歳までの無料化が実現
1995	就学前まで無料化
2007	中学3年まで無料化
2011	18歳まで無料化

「自己責任」求める新自由主義とたたかって— 無料のがん検診を復活

2人に1人ががんにかかると言われる時代ですが、千代田区は2004年からがん検診を有料に。共産党区議団は、“無料の区と比べて、千代田区は受診率が低い”ことも明らかにして何度も無料化復活を求めました。

15年後の2019年、ついに復活して歓迎されています。

補聴器購入助成額の拡充

高齢者の2人に1人が加齢性の難聴といわれます。共産党区議団は2006年、補聴器助成制度の導入を提案。繰り返してとりあげ、ついに2012年度に実現。その後も助成額の引き上げを求め、2019年度からは2倍の5万円に。たくさんの方から喜びの声をいただいています。

他会派と力を合わせ

他会派と共同して、気候非常事態宣言に関する決議（2020年6月）、気候非常事態宣言（2021年11月）を提案し、実現しました。

2015年の安保法制強行に反対する超党派区議がよびかけた「戦争させない千代田の会」は、毎月リレートークなどの共同行動にとりくみ、この10月で75回になります。

今期の3年半の間に、他会派の議員と共同して、遊び場条例改正案など、5回の条例提案を行いました。



「戦争させない千代田の会」のリレートークで（2022年10月21日）

憲法9条守り生かす

消費税減税